

事業報告書

事業期間

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

本部

母子父子福祉センター

ゆたか保育園

わかば保育園

亮商店

令和2年度 社会福祉法人豊中市母子寡婦福祉会 事業報告書

1. 事業報告

(1) 会議

- | | |
|---------------|--|
| ① 運営会議（定例） | 年間5回開催(新型コロナウイルス感染症拡大により4,5,6,12月中止) |
| ② 臨時運営会議 | 開催無 |
| ③ 理事会・評議員会・監査 | 評議員会：R2.6.25/R3.3.15（2回）
理 事 会：R2.6.8 / R2.7.28（書面）/R3.3.4（3回）
監 査：R2.5.29（1回） |

(2) 生活支援事業

- ① ひとり親家庭等日常生活支援事業（豊中市からの委託事業）

(3) 広報活動事業

- | | |
|--------------|-------------------|
| ① 広報部活動 | 隨時 |
| ② 事業案内発行 | 隨時 |
| ③ 「大阪ぼしれん」配布 | 年4回（5月・8月・11月・1月） |
| ④ ホームページの更新 | 隨時 |

(4) 母子及び寡婦福祉法第25条に係る売店事業・飲料水自動販売機事業

- | | |
|---------------|---------------------------|
| ① 市立豊中病院内売店事業 | 「ローソン市立豊中病院店」の経営 |
| ② 飲料水自動販売機事業 | 市内7箇所（7台）販売手数料：1,048,560円 |

※上記で得た収入は、交流事業等の事業費の一部に充当した。

(5) 会員自主事業

- | | |
|---------|--|
| ① 趣味の講座 | ペン習字（毎月第1・第3金曜日）年間参加人数 142名
編み物（毎月第2・第4火曜日）年間参加人数 46名 |
| ② 同好会 | カラオケ同好会・ハイキング同好会・母子部サークル |

※新型コロナウイルス感染症拡大により、ペン習字は4,5月中止・1月一部中

止し、編み物は5, 1, 2月中止・4, 12月一部中止した。同好会とサークルは年間を通して開催を見合せた。

(6) 会員の交流活動

	事 業 名	事 業 内 容
(1)	健康体操	・講師を迎える、座った状態でできるストレッチなど、音楽に合わせて身体を動かした。 参加者（11名）7/8（水）
(2)	茶話会	・寡婦さん同士でお茶を飲みながら楽しくおしゃべりをし、コロナ禍のストレスを発散した。 参加者（14名）9/9（水）
(3)	茶話会	・お茶とお茶菓子をいただきながら年末の予定など語り合い、 参加者同士の交流を図った。 参加者（14名）10/14（水）
(4)	クラフト	・お正月用の祝箸袋を作り交流を図った。11月11日は ポッキーの日ということでポッキーをお配りした。 参加者（15名）11/11（水）
(5)	春風亭一之輔独演会	・当代随一の人気を誇る春風亭一之輔さんの落語、演目「白川」と「柳田格之進」を楽しんだ。 参加者（18名）11/20（金）
(6)	ヤノシュ・オレイニチャ クピアノリサイタル	・ポーランドの巨匠「ショパンの化身」と謳われた円熟の妙技 を楽しんだ。 参加者（46名）1/19（火）
(7)	クラフト	・2色のフェルトを編み込み、中にバラのポプリを入れ「サシエ」を作った。お互い教え合うなど楽しい時間を過ごした。 参加者（15人）3/10（水）

※新型コロナウイルス感染症拡大により、バスツアー、ランチハイキングなど予定した11回の交流活動は5回の実施に、また、文化芸術センターで予定した5回の観劇鑑賞等も2回の実施にとどまった。

(7) 相談事業

- ① 子育て・就労・生活等に悩んでいる母子家庭及び寡婦並びに父子家庭の方へのサポートをした。（離婚前相談にも対応）

(8) コロナ禍における支援

- ①コロナ禍で役立ててほしいと個人の方からご寄附をいただき、それを原資として母子家庭、父子家庭に一世帯当たり 6,000 円のクオカードをお配りした。
- ②社協よりお米の寄附をいただき、全員にお配りした。

2. 大阪府母子寡婦福祉連合会事業

◆ 皓養社奨学金（給付式は中止） 6/9（土）14名授与された。年額：6万円

令和2年度 豊中市立母子父子福祉センター 事業報告書

自令和2年4月1日
至令和3年3月31日

事業名		事業内容
就労支援講座	介護職員初任者研修	6/7～9/13（日）15回 定員8人 受講者6人 受講者合計90人 修了試験受講者数6人 資格修了証認定者数6人 (新型コロナウイルス感染症の影響で開催日を延期した)
	事務職をめざすための日商簿記3級検定対策講座	8/30～11/1（日）20回 定員9人 受講者 9人 受講者合計178人 検定試験申込者数9人 受験者数8人 合格者数2人
	ビジネスパソコン基礎講座	10/1～11/26（木）9回 定員8人 受講者8人 受講者合計63人 検定試験申込者5人 受験者数5人 合格者数5人
	医科医療事務3級検定講座	1/24～3/28（日）19回 定員9人 受講者 8人 受講者合計140人 検定試験申込者8人 受講者数8人 合格者数5人
学習支援講座	ひとり親家庭学習支援教室	6/6～3/27 毎週（土）【4月第1土曜日・休館日・日祝除く】 年間授業数39回（当初47回のところ新型コロナウイルス感染症拡大の影響で4、5月は前年度からの参加者を対象に、復習予習のプリントによる解答・添削で実施した。） 年間出席者数 中学生327人 高校生221人 合計548人 ※夏季講習 8/12(水)・8/13(木)・8/14(金) 計3回 出席者数 中学生20人 高校生13人 合計33人 ※冬季講習 12/25（金）・12/28（月）1/6（水）・1/7（木） 計4回 出席者数 中学生29人 高校生9人 合計38人 ※プリント学習 4/17(金)郵送 中学生5人 高校生13人 5/19(火)郵送 中学生5人 高校生13人 計2回 参加者数 中学生10人 高校生26人 合計36人 コロナ禍で学校が再開され、学習に対して不安を抱えている生徒が多くみられる中、積極的に講師に相談する生徒も多くいた。進路指導や学習計画を個別に行うことにより個々の学習意欲を高めることができた。夏季講習・冬季講習を開催し、長期の休み中も勉強をする習慣が身に付いた。クリスマス会に代えてクリスマスツーリングや、年度末のお別れ会に代えてネーム入りシャーベンをコロナ禍で頑張っている生徒さんに配布した。ただ、コロナ禍でランチ提供(子ども食堂)は1回の実施にとどまった。
		6/28（日）定員10人 参加者15人 (後日資料のみ配布者5人) 内容：日本学生支援機構や大阪府育英会、母子寡婦福祉資金、豊中市奨学金、国の教育ローン、社会福祉協議会の教育資金貸付制度についての説明、質疑応答 講師：豊中市進路選択支援事業 相談員 (社福) 豊中市社会福祉協議会貸付相談員 豊中市こども未来部 子育て給付課 貸付担当者
生活支援セミナー	奨学金制度説明会	3/20（土・祝）定員9人 参加者5人 内容：離婚を考えたときの基礎知識や、養育費、面会交流について知っておくべき動向や、家庭裁判所ほか相談機関の活用法についてお話ししいただいた。質疑応答の時間では、参加者からの質問も多かつた。 講師：家庭裁判所家事調停委員・大阪ファミリー相談室専門相談員の荒木直彦さん

相談	平日 (10:00~16:00)	年間相談件数 面接57件(内男性3件) 電話198件(内男性56件) 合計255件
	弁護士相談	年間相談件数 夜間32件 土曜日28件 合計60件
	専門相談	年間相談件数 計31件(内男性1件)
レクリエーション	親子で楽しいクリスマス	12/13(日) 定員45人 親17人・こども23人 合計40人参加 今年のクリスマス会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3密を避け実施した。デコパージュをしたトートバッグの釣りゲームから始まり、それをエコバッグとして利用しながら、くじ引き、ボール入れ、千本引き、輪投げの各ゲームを家族ごとに順番に回ってもらった。サンドウィッチ、ロールケーキ、石鹼作り工作キット、サンタさんからの手紙をお土産として持ち帰ってもらった。フィジカルディスタンスを守りながら、親子で楽しんでもらうことができた。
	子ども服リサイクル	2/14(日) 定員40人 参加者:父母15人 子ども14人 合計29人 内容:子ども服や雑貨などのリサイクル催しを実施した。緊急事態宣言の発令により、配信メールのみでの告知となった。新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、入り口での検温、ニトリルグローブの着用に協力してもらい、人数制限や換気の徹底をしたうえで実施した。
貸室	会議室	年間合計 328件/2,590人
	和室	年間合計 230件/854人
	会議室・和室 合計	年間合計 558件/3,444人
研修	母子相談員研修	相談員2人 年4回受講
	人権研修	常勤職員2人 年2回受講
安全管理	消防訓練 講習会 設備点検	消防訓練年1回実施・安全管理合同会議年1回 非常時通報装置使用方法の講習会年1回実施 設備点検(消防・自動ドア・電気・空調)

※新型コロナウイルス感染症の影響

1. 参加者、利用者の状況

- ①. 就労支援講座 4つの講座とも例年の定員のほぼ半数の参加者で実施した。
 ②. 学習支援教室 公募せず、元年度からの継続者や問合せなど参加者数を考慮しての参加など、前年比75%の参加者で実施した。
 ③. 生活支援セミナー 例年実施する「奨学金制度説明会」に加え、養育費に関する説明会を実施した。
 ④. 相談事業 通常相談は前年比50%増、弁護士相談、専門相談はほぼ同じであった。
 ⑤. レクレーション バスツアー、夏まつりは中止し、3密を避けたクリスマスや子ども服リサイクルの催しを行った。
 ⑥. 貸室 利用件数は、前年比ほぼ30%減、利用者数はほぼ60%減であった。

2. 指定管理者に求められるサービス水準

	確保すべきサービス水準	2年度実績
①. 事業利用者延人数	1,436人	1,248人
②. 相談件数	204人	346人

※豊中市の指定管理者公募に応じ、令和2年12月、指定管理者に指定された(令和3年度から7年度)。

令和2年度 ゆたか保育園事業報告書

1. 保育の理念と方針

当園の『保育の内容に関する全体的な計画』にのっとり、

子どもたちの美しい心を育む

健やかなからだを育む

豊かな夢を育てる

を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指す。保育の中で工夫や一人ひとりの子どもの特性を生かし、それを伸ばせるような保育を職員会議やミーティングにおいて職員全員で考え、実践していくようとする。

保護者に安心していただけるような支援に努め、外国籍の方、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に関わり全ての家庭が、安心しあえる関係を築いていく。家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、ゆたか保育園ではそれらのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築く。

この基本方針を令和2年度一年間実践できるように努力、研鑽をおこなった。

2. クラス別保育

*緊急事態宣言が発出され本格的に全員が揃っての保育は7月からとなった。

○ 0歳児クラス：生活面や遊びを丁寧に関わっていく事で保育者と一緒にしようと
(8か月から) する姿から、自分で“やってみよう”と思える姿が増えてきた。

一緒に過ごす他児に興味・関心が広がり、同じ遊びを行ったり模倣を楽しんだりしている。その中で自分の思いを出し玩具に取り合う姿も出てきた。保育者と一緒に「かして」と伝えることを繰り返し、貸し借りのやりとりもするようになってきた。

○ 1歳児クラス：保育者の愛情豊かな受容や日々の繰り返しで、一日の生活の流れがわかり、見通しをもって意欲的に生活しようとしている姿が増えた。友だちを意識して遊べるような遊びを取り入れ、室内ではままごとや買い物ごっこなどの手作り玩具で友だちと関わって遊ぶようになった。今年度は12名を担任3名で保育を行った。子ども

の成長に合わせて担当を変更していき、2歳児クラスに向けて6名で過ごすようにしていった。

○ 2歳児クラス：月齢や成長によってスキルの差が大きく個別に丁寧に関わっていった。できたことはともに喜び、次に繋げていった。

一人遊びから友だちと関わり、一緒に遊ぶことが出来るようなってきたがその分トラブルも増えた。トラブルの際は保育者が丁寧に関わっていった。

幼児クラスに向けて3歳児クラスとの交流を行った。

○ 3・4・5歳児クラス：コロナウイルス感染症拡大防止で生活や遊びに制限のある中、子どもたちにも現状を伝え生活や遊びを工夫していった。

12月から3クラス合同での保育を行い異年齢でのかかわりを深めることで思いやりの気持ちや、大きい子へのあこがれも育っていった。

一人一人を受けとめ認める事で、自信に繋がり色々な事に興味も膨らんできた。

3. クラス編成

児童定員 50名 (弾力化 59名)

令和2年4月1日 54名(弾力化)

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
認可定員	9名	9名	9名	9名	9名	5名	50名
弾力化数	13名	12名	9名	10名	8名	2名	54名
内障がい児	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

令和3年3月31日 60名(弾力化)

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり組	ばら組	ひまわり組	こすもす組	すみれ組	さくら組	
認可定員	9名	9名	9名	9名	9名	5名	50名
弾力化数	13名	11名	9名	12名	12名	3名	60名
内障がい児	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名

4. 職員配置（R3年3月）

園長（1） 主任保育士（1） 保育士（9） 看護師（1） 非常勤保育士（2）
朝・夕・土曜日パート保育士（5） 用務（1） 事務（1）・・・21名
嘱託医[内科・歯科・眼科・耳鼻科]（4） 委託調理師・調理員（3） 委託栄養士（1）

5. 保護者への支援

- ・新型コロナウイルス感染症拡大や緊急事態宣言等で日々の生活が変わり不安に思う保護者に対して、気持は十分受けとめて話を聞いた。
- ・保護者と共に園生活、家庭生活の見直しができるよう豊中市児童発達支援センター「つぼみ」と連携し、子どもが生活しやすい環境を試行錯誤していった。

6. 地域交流事業

大阪府の新型コロナウイルス感染者が増加している時や緊急事態宣言発令中は、地域との交流は中止した。

キッズランド・サイトピー（地域交流事業）は、感染者が落ち着いている時期に母子父子福祉センターの部屋を借りて3組の親子対象に遊びを紹介し、3回開催した。

地域と高齢者とのラジオ体操も新型コロナウイルス感染防止の為、年間通して中止とした。

7. 職員育成と研修計画

新型コロナウイルス感染拡大防止の為豊中市こども財団の対面の研修は、中止となりオンライン研修を受講する。

保育のデザイン研究所（フレーベル館）のオンライン研修で、各職員講座を受講した。

キャリアアップ研修は申し込んでいたが、長時間の対面研修の為すべてキャンセルした。

保育の中間総括を行い、保育を見直していった。またカリキュラムや総括の用紙の書き方の見直しも行い、誰もがわかりやすい記録用紙になるようにしていった。

8. 運営管理

- ・職員会議 対面での会議は行わず、必要事項は昼ミーティングやノートで伝えた。
- ・保育会議 10月頃から2階の会議室を借りソーシャルディスタンスをとりながら集合しての会議を行った。
- ・昼ミーティング 毎日その日の伝達事項の確認を行った。
- ・アレルギーミーティング 毎日次の日のおやつ・給食のチェックを行った。
- ・食育会議 月1回
 - 一富士の調理師、栄養士と意見を交換し、安全・安心な食事の充実を図っていった。
- ・保健会議 月1回
 - 保健、衛生に関するこことを看護師中心に話し合い、知識も高めていった。
 - 感染症報告（突発性発疹・感染性胃腸炎・アタマジラミ・とびひ）
- ・クラスミーティング・乳児会議・幼児会議 月1回及び随時
 - より良い保育を行うため、保育の内容や行事について話し合いを行い、保育士の共通認識とした。
- ・運営委員会 年2回
- ・施設会議 月1回 定例会議
- ・苦情解決委員会 今年度は、苦情解決委員に報告する苦情はなかった。
- ・園内人事委員会 隨時

9. 給食 一富士フードサービス株式会社に委託した。

委託業者との連携を密に行い、安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る給食管理を行った。

- ・安心安全な食材の調達と衛生管理、独自の給食献立による食事の提供を行った。
- ・アレルギー除去食、可能な範囲での代替食の実施を医師記入による「生活管理指導表」を基に行った。月1回保護者とのアレルギ一面談を行い、保育士、看護師、調理員と連携のもと誤食の事故防止を図った。
前日には、アレルギーミーティング（保育士・看護師・調理師）を行い、
当日には、調理師同士の声掛けチェック、保育士が調理室に貰いに行く時にチェック表を持参し調理師との食札と言葉でのチェックを行った。
- 保育室での配膳時の配膳台は、普通食と別の棚に置き保育士同士での声掛けを行っていった。
- ・保護者への情報提供として給食だよりを発行した。
- ・調理師さんに幼稚園保育室にきてもらい、栄養ボードを使用して本日のメニュー、材料を教えてもらうことにより調理員さんとの関わりも増え、食への興味も広がった。

10. 保健

- ・発育測定 毎月 1回
- ・内科健診 乳児年 3回 幼児年 2回
- ・歯科検診 年 1回
- ・眼科検診、視力検査 幼児年 1回
- ・耳鼻科検診 幼児年 1回
- ・尿検査 5・4歳児 年 1回
- ・職員検便 每月 1回
- ・職員健康診断 年 1回
- ・室温、湿度の管理や外気温に合わせて戸外遊びなども調整した。
- ・光化学スモッグ、黄砂、PM2.5の情報公開
- ・けが防止ヒヤリハット活動の充実
- ・健康ながらだ作りのために各クラスに対して、看護師による手洗い、トイレ指導をおこなった。4・5歳児は、手洗いチェックで菌の落ち方を知ることができた。
- ・玩具の消毒や換気を行った。

11. 環境整備

- ・施設安全点検（月 1回）で危険個所などを確認し、不備があれば改善した。
- ・園庭整備・草むしり・砂場の砂の日光消毒や補充を行った。
- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂さらいは、緊急事態宣言発令中の交代勤務時に行つた。

12. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月 1回 防災または防犯訓練を実施した。担当者は毎月変わり、火災・地震・浸水・不審者侵入を想定して避難した。紙芝居等での指導も行った。
- ・消火器の使い方の把握や再確認のため毎月職員が消火訓練を行った。
- ・緊急時の通信手段として、「NTT 災害伝言ダイヤル 171」を保護者に知らせ保育園から伝言を録音して聞いてもらう体験を行った。（9/1・9/4・1/16・1/20）
- ・毎月末安全点検（各クラス、施設全体）を行い危険個所がないか点検するとともに日々の環境整備も心掛けた。
- ・ヒヤリハット報告（32件）
　　ビーベルや小石を口に入れていた、年齢にあっていない小さな玩具があった、
　　登り棒から落下、公園から子どもが出ていこうとした、公園で犬に近づいて
　　いき吠えられてこける、遊具のとげが刺さる等

食物アレルギーハリハット報告（5件）

アレルギーのトレー提供忘れ、別のアレルギー児との提供間違い等

これらは、未然に防ぐことのできる事例が多いので、全職員で情報共有して今後につなげた。

・事故報告（1件）

園庭のS字ブロックに左上瞼を打ち切る、直後に母親の迎えだったため傷口が深そうだったので受診してもらう

・j モバイルメールの発信 19回

(4/3・4/7・4/8・4/9・4/10・4/30・5/3・5/18・5/19・5/22・5/25・5/29・
6/3・10/22・11/27・12/3・12/4・1/14・2/3)

・総合避難訓練（11/2）は、母子父子福祉センター職員と合同で行った。

13. 新型コロナウイルス感染症防止対策

新型コロナウイルス感染症拡大時の保育

・4/7 緊急事態宣言発令

4/13～保育利用対象者の限定（両親共に医療従事、治安従事、福祉施設従事、市民生活維持の為の事業等従事の方）設けて限定的な保育を行う・・・園児1～2名の出席

・5/16 大阪府の自粛要請等の段階的解除

5/22～5/31まで、両親いずれかが利用対象者に該当される方も対象とする。

・・・園児20名ほどの出席

・5/21 緊急事態宣言解除

限定保育を解除するが6/30まで自宅での保育可能な方は、登園自粛を依頼

・・・園児40名ほどの出席

・7/1～通常保育となる

・4月～6月の期間で家庭保育のご協力をいただいた場合、保育料、給食費は日割り計算で減額した。

・職員は4・5月、交代で出勤し特別有給休暇とする。休暇の間は、保育について自己研鑽の時間とした。

・12/4～大阪モデル「レッドステージ」通常保育

・1/14～2/28 緊急事態宣言

園行事中止等はあるものの基本的な感染予防対策を徹底しながら通常保育を継続

保育現場での新型コロナウイルス感染症防止対策

- ・新型コロナウイルス感染症対応マニュアルを作成し、職員に対応を周知するとともに、朝の受け入れときめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、情報提供（手紙配布・園内掲示）や、健康相談などを行った。
- ・園内に入る時には手洗い、検温を行う。体調がいつもと違ったり、37.5度以上の熱がある場合は、家庭保育を依頼し、体調が回復傾向にあり、解熱後24時間絶たないと登園できない事を伝えた。保護者の送迎時必ずマスクの着用を依頼した。
- ・職員にマスクを配布し常時着用、毎朝勤務前に検温し自己管理を行う。体調がいつもと違ったり、37.5度以上の熱がある場合は、勤務できない。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため各保育室や事務所、職員休憩室に光触媒除菌・脱臭機（ターンド・ケイ）、玄関ホールに大型空気清浄機（プラズマクラスター）を設置した。
- ・玄関の扉を定期的に開放するため網戸カーテンを設置した。
- ・2人用幼児テーブルを購入し、給食時全児同じ方向を向いて食べるようになり、職員は子どもと一緒に食べず食事指導やお代わり対応を行う。職員は、子どもたちの午睡中に給食を食べる。
- ・玄関付近に2ヶ所手洗いシンクを設置し、ハンドソープ、アルコール消毒液を置く。
- ・朝・夕に施設内の共用部分（玄関・門扉・手洗い場・ICカード付近・電気スイッチ・ドアノブ・トイレ等）の消毒を行う。
- ・玩具は、子どもの午睡中に担任やフリー保育士で消毒を行う。

14. ゆたか保育園新園舎建替え

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため近隣住民説明会を中止し、新園舎建設予定地の近隣する皆さんに個別訪問し説明した。
またそれ以外の近隣住民の皆さんにはビラと資料を各戸配布した。（6～8月）
- ・保育園建設に反対はなく、建替え工事の手続を進めた。
- ・令和3年1月12日付で補助金の保育所等設置等事前協議が完了した。

令和2年度 年間行事報告

社会福祉法人 豊中市母子寡婦福祉会
ゆたか保育園

自 令和2年 4月 1日
至 令和3年 3月 31日

月	日	事業名	事業内容
4	1	入園・進級を祝う会	新入・在園全ての親子で入園進級を祝った (クラスごとにわかれ)
		クラス懇談会	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
5			
		スイトピー(地域交流事業)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
		遠足(幼児)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
6	6	保育参観	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
15～26		個人懇談週間	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
6	26	プール開き	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
		スイトピー(地域交流事業)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
7	3	七夕の集い	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
10, 11, 12		お泊りがんばってね会・お泊り保育(5歳児)	コロナウイルス感染症拡大防止の為延期
		スイトピー(地域交流事業)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
		遠足(幼児)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
8	23	センター夏祭り	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
		プール開放(地域交流事業)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
	9	健康診断(全児)	嘱託内科医 島越Drにより行った
10, 24		おじいちゃん・おばあちゃんとあそぼう (世代間交流事業)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
9	11	プールじまい	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
24		歯科検診(全児)	嘱託歯科医 中西Drにより行った
30		スイトピー(地域交流事業)	手作り玩具、ふれあい遊び 2組の親子の参加
		保護者会夏まつり	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
		遠足(幼児)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
10	1	耳鼻科検診(幼児)	嘱託耳鼻科医 こうづきDrにより行った
	6	スイトピー(地域交流事業)	手作り玩具、ふれあい遊び 2組の親子の参加
	15	芋掘り遠足(メディカルホームくらら桃山台ベネッセの森)	貸切バスを利用し、4,5歳児が芋掘り体験をした
	22	体操教室参観(幼児)	クラスごとにわかれ、保護者に体操教室の様子を見もらった
	24	ふれあいカーニバル(世代間交流事業)	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
		地域職場体験学習受け入れ	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止

	2	総合避難訓練（母子父子福祉センター合同）	規模を縮小して実施（雨天の為テラスへ避難した）
	5	眼科検診・視力検査（幼児）	嘱託眼科医 高島Drにより行った
	6	バス遠足（幼児）	大型バスで五月山公園に行き遊んだ
11	9～20	保育参観週間	都合の良い日に保育の様子を参観してもらった（人数制限あり）
	11	スイトピー（地域交流事業）	手作り玩具、ふれあい遊び 2組の親子の参加
	20～27	作品展	各クラスで海をテーマに作品を作り、保護者に見てもらった
	21	デイキャンプ（5歳児）	貸切バスで万博記念公園に行ったり、クッキングや園内探検を楽しんだ
	2	もちつき会	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
	2, 8, 11	クッキング（幼児）	個々ですり鉢とすりこ木を使い、もち作りを楽しんだ
	4	和太鼓参観（4・5歳児）	クラスごとにわかれ、和太鼓の様子を見てもらった
	9	健康診断（全児）	嘱託内科医 島越Drにより行った
12	14～25	個人懇談週間	子どもの家庭での様子や悩み事、園での様子や成長を話し合った
	16	スイトピー（地域交流事業）	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
	25	おたのしみ会	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
		地域職場体験学習受け入れ	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
		遠足（幼児）	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
1	7	お正月遊びを楽しもう	各クラスで凧揚げや羽根つきを楽しんだ
	27	スイトピー（地域交流事業）	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
		遠足（幼児）	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
2	6	生活発表会（幼児）	コロナウイルス感染症拡大防止の為、後日DVD製作・販売に変更
		クラス懇談会	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
	24	スイトピー（地域交流事業）	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止
3	3	新入園児入園説明会	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止（書類郵送）
	4	お別れ遠足（幼児）	大曾公園で遊び、弁当を食べた
	23	乳児・新入園児健康診断	嘱託内科医 島越Drにより行った
	27	卒園式	卒園した喜びを分かち合える式となった（人数制限あり）
		スイトピー（地域交流事業）	コロナウイルス感染症拡大防止の為中止

※年間を通して毎月の行事

誕生会（毎月第3火曜日） 給食は誕生会メニュー

発育測定（身長・体重・胸囲）、衛生検査（頭シラミ、手足の爪の検査）

避難訓練、消火訓練、防犯訓練（危機管理による）、安全点検

4・5歳児・・・月1回和太鼓の稽古（コロナウイルス感染症拡大防止の為中止期間あり）

3・4・5歳児・・・月2回体操教室（コロナウイルス感染症拡大防止の為中止期間あり）

園庭開放（月～金） 絵本貸出（第1・3金曜日） コロナウイルス感染症拡大防止の為中止

その他個人懇談、育児相談は随時

※幼保小交流行事は年間を通して中止（コロナウイルス感染症拡大防止の為）

令和2年度 わかば保育園事業報告書

1. 保育の理念と方針

当園の全体的な計画にのっとり、子どもたちの美しい心を育む
健やかなからだを育む
豊かな夢を育てる
を保育理念とし

保護者に安心、信頼していただける園運営を目指すため、保育の中で工夫や
一人一人の子どもの特性を生かし、それを伸ばせるように乳児・幼児ミーティング
で意見を交わし、語り合いで保育を職員全員で考え、実践していくようにした。

保護者に安心していただけるように支援にも努力し、継続の家庭はもちろん
外国籍の方、育児困難を抱える方など保護者の立場に立ち、親切に、丁寧に関わる
ようにした。

また、日々の園児の様子や保育内容がどんなことを大切にして行っているかを保護者に理解して頂くために、その日のお便りをドキュメンテーション型（写真、コメント入り）の記録とし、玄関で3,4,5歳児の記録を掲示、0,1,2歳児は廊下などに掲示した。

家庭での食生活、生活習慣が子どもたちの心と体をつくり、また保育園生活においても保育・給食・保健が連携し合い、食べること、作ること、体を守ること、自分を大切にすること、命のつながりなど、わかば保育園ではそのことを保育方針、保育目標として保育を充実させるよう努力し、保護者との信頼関係を築いていった。

2. クラス別保育方針は次の通り

○ 0歳児クラス：発達の特徴と違いを踏まえ、愛情豊かに応答的な関わりの下で
(8か月から) 信頼関係を築き、人と関わる力の基盤を培える保育を工夫した。

生理的・心理的欲求を満たし、食の基盤となる時期での食べる
喜びや楽しさを味わい、養護における生命の保持、情緒の安定
を図った。

○ 1歳児クラス：保育士等の愛情豊かな受容の下で全身を使う遊びと休息、食事・
排泄・午睡等安心できる生活のリズムをつくり、自分でしよう
とする気持ちを持てるようにし、応答的な触れ合いや言葉がけに
よって欲求が満たされ、安定感をもって過ごせるようにした。

○ 2歳児クラス：子どもが自分の感情や気持ちに気づき、自発的な活動ができる

ように見守り尊重する言葉がけをした。友だちの存在を認め、言葉に対する感覚や表現する力を養い、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付け、見通しを持って行動できるようにした。

○ 3歳児クラス：基本的生活習慣を身に付け明るく伸び伸びと行動し、体を十分に動かし、食べ物への興味や関心をもち、自分以外の人と親しみ、関わりを深め、協力して一緒に生活する楽しさを味わえるようにした。

○4歳児クラス：生活の中で自分で出来ることに喜びを持ちながら、友だちに自分の気持ちを伝えたり、相手の気持ちに気づき聴いたりできるようにした。色々な活動や自然の事象に好奇心や探究心を持ち、保育者や友だちと一緒に関わりを深めることができるようとした。

○5歳児クラス：自分以外の人々と親しみ、生活を楽しみ、自分の力で見通しを持って考えながら行動できるようにする。良いことや悪いことがあることに気づき、自然の事象、文化や伝統に興味を持ち、豊かな感情、思考力、表現力の基礎が培われるような保育をするようにした。

3. 児童定員 60名

R2年 4月1日 児童数（弾力化） 69名

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり	ばら	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
認可定員	11	11	11	11	10	6	60
弾力化数	14	7	14	14	14	6	69
内障がい児	0	1	0	0	0	0	1

R3年 3月31日 児童数（弾力化） 72名

年齢児	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	合計
クラス名	ゆり	ばら	ひまわり	こすもす	すみれ	さくら	
認可定員	11	11	11	11	10	6	60
弾力化数	14	7	14	17	14	6	72
内障がい児	0	2	1	0	1	0	4

4. 職員配置

園長（1）主任保育士（1）常勤保育士（15）非常勤保育士（5）看護師（1）
朝・夕パート（2）用務（高齢者雇用）（2）・・・26名 育児休暇中保育士（1）
嘱託医【内科・歯科・耳鼻科・眼科】（4）
委託調理師・調理員（3）委託栄養士（1）

5. 保護者への支援

- ・保護者の顔色や子どもへの言葉がけ、振る舞いを視診時によく観察し、声をかけながら育児や家庭の悩みの相談を受け少しでも保護者の負担を軽減できるようにした。
- ・気になる子どもの保育をいろいろ考慮し、集団での生活で成長のゆるやかさにより困難さが増すところを園内での見守り・関わりに配慮し、保護者とともに園生活・家庭生活の見直しをできるようにした。関係機関にも繋げるようにした。
- ・4月より新型コロナウィルス感染症拡大防止のため豊中市との連携で保護者に情報発信をした。

6. 地域交流事業

わくわくサークル（未就園児対象）、保育園行事参加、異年齢交流事業、世代間交流事業の取り組みは新型コロナウィルス感染症防止のため4月から中止した。園見学の方は8/24より1日1組10分で受け入れし、9,10月は毎日の対応となった。

7. 職員育成と研修計画

- ・幼稚園免許更新対象者なし。
- ・新型コロナウィルス感染症防止のためオンライン研修（豊中子ども財団研修、外部オンライン研修等）を受講し、保育士としての資質向上とリーダーはその資質向上と職員育成の助力ができるようにした。

8. 運営管理

運営委員会、職員会議（月1）、保育会議（月1）、部署会議（月1）施設会議（月1）、苦情解決委員会（年1）を開催し、それぞれの課題共有と解決を図り、人事考査、園の定員数、職員数の見直し、運営の充実の検討を重ねていった。

9. 給食 一富士フードサービス株式会社 に委託する

一富士フードサービス㈱と安心安全、楽しい食と情報の提供と健康を守る衛生、給食管理を行うよう食育会議や随時疑問点など伝達するようにした。

- ・今年度は冷凍母乳の受け入れなし。
- ・アレルギー児のアレルゲン内容の変化や緩和によりアレルギーチェックを再度行い、一富士フードサービス㈱と献立上の確認、食材、調味料、市販菓子の裏表示のコピー成分表を確認する。各クラスのアレルギーボードは前日に必ず記入し、厨房と口頭でやり取りしそれを基に配膳直前まで複数の職員でチェックし、誤食の事故に至らないようにした。(毎月給食だより配布)
- ・アレルギー食には青色ラップをし、ピンクのアレルギー児用食器を用いておかわりの際などの誤食がおこらないようにした。

10. 保健

きめ細やかに保護者と子どもの健康状態の情報交換を行い、感染症拡大抑止のための情報提供や(園内掲示)、健康相談を行った。

新型コロナウィルス感染症防止のため施設内・備品の消毒を毎日行い、園児・保護者・職員が感染しないように、手洗い、手消毒、咳エチケットのことを周知し、3密を避けるように登降園時の分散、活動・食事の時の注意を示した。新型コロナウィルス感染予防マニュアルを4月に作成、9月に改定を行った。

11.環境整備

・園庭遊びを、遊具だけでなく、泥んこ遊び・水遊びができるように整備し、季節ごとの野菜を植えて生長を感じ、樹木にくる昆虫などを観察して自然を感じることができる様にした。

(R2年度は園庭にバタフライガーデン・樹木・レンギョウのドーム・トンネルを施工し、R3年度はビオトープ・水遊び場、砂場、築山を造る計画をしている。)

- ・側溝の掃除、園庭側溝の砂撒き、ネコよけ対策、除草をした。
- ・古い書類の整理、保管、廃棄をした。
- ・園内の整理整頓、遊具の管理と見直し、絵本コーナーを広げ貸し出し絵本の充実と園児が色々な絵本に触れられるようにした。
- ・給食エレベーターの不具合があり、モーター本体の修理交換をした。
- ・分散登園のため、園庭デッキにルーフ屋根を設置し雨天時でも登降園の受け入れを可能にした。保育室から屋根付きデッキにも出て遊びの広がりも増した。

12. 防災・防犯・安全管理

- ・毎月1回 防災訓練の実施（消火訓練）、マニュアル見直し
- ・総合防災訓練
- ・防災備蓄品の点検と交換
- ・安全点検にクラス、施設全体のチェックと「新型コロナウィルス感染症の発生に備えたチェックリスト」を加え、各クラスとフリー保育士で保育の場での感染防止をチェックし、感染防止対策を常に認識しておくようにした。
- ・火災報知器、消防点検（ダイリン）
- ・防犯訓練、防犯強化のための備品設置
 - 非常通報装置の定期点検
 - 防犯ブザーの点検、防犯カメラ・画像の点検（双葉商会）
 - 電話機、子機、トランシーバーの点検と修理・交換

13. 新型コロナウィルス感染症防止対策

- 新型コロナウィルス感染症の感染拡大を受けて、4/7（火）「緊急事態宣言」が発令され、感染防止の観点から保育園における保育体制の縮小を行った。
- ・保育園利用者の限定（4/13～5/6）

両親とも、医療従事・治安従事・福祉施設従事・市民生活維持の為の事業等従事の方。

その後、「緊急事態宣言」の延長が示され引き続き、利用限定保育の継続を行った。
(5/31まで)

利用者限定以外となる方の園在籍と上記の証明を作成し、お渡しした。（4名）

 - ・5/16 保育園利用対象者を両親ともから両親いずれかとし、段階的に保育を拡充した。（5/22～5/31）
 - ・登降園の在り方を、通用門から0,1,2歳児は正面玄関から保育室へ
3,4,5歳児は通用門から園庭デッキでの受け入れとした。
 - ・5/22 「緊急事態宣言」解除にともない、5/24までの限定保育解消。

感染防止の観点から、自宅保育可能な方は登園自粛と保育時間短縮（午前中、早退）等の協力お願いをした。
 - ・6/1～6/30 家庭保育の協力お願い継続
 - ・7/1～ 通常保育となる。
 - ・R3 1/13（水）～2/7（日）緊急事態宣言発出 通常保育
 - ・3/7（日）まで緊急事態宣言延長となる。（大阪府2/28解除）

保育現場での新型コロナウィルス感染症防止対策

- ・手洗い・消毒のための石けん、アルコールジェル、ペーパータオル、ビニール袋などの在庫を確認し、補充した。（コロナ対応補助金）
- ・園児登園完了後、施設内（通用門・玄関・保育室・階段手すり・トイレ等）、遊具や絵本の消毒を看護師や事務所側で行った。また、クラスの玩具などは隨時クラスごとに保育士が消毒を行った。
- ・職員にマスクを配布し、毎日の健康管理を行うためにパルスオキシメーターで酸素濃度を測り、検温、健康管理表（倦怠感・息苦しさ・味覚、嗅覚異常・風邪症状・下痢などの有無）にチェックするようにした。
- ・密を避けるために机を増やし、給食時に幼児クラスは飛沫防止パーテーションを設置し飛沫による感染防止策をとった。
- ・乳児クラスは保育室内のロッカーを廊下に移動して、園児が多くの保護者と接触しないようにした。
- ・分散登園を行えるように、通用門を経て乳児クラスは正面玄関から保育室へ入り、幼児クラスは園庭デッキでの受け入れをし、時間差で保育室へ移動。
雨天時でもデッキでの受け入れができるように、ルーフ屋根を設置した。
- ・光触媒搭載の除菌脱臭機を保育室、玄関、多目的室（感染者隔離部屋）、休憩室、職員ロッカールーム、トイレなどに設置し、高性能の空気清浄機を絵本コーナーの廊下に設置して空気感染などを防止するようにした。
- ・保護者、園児の健康管理のためのコロナ感染症感染拡大防止策を豊中市からの情報などを発信し共有するようにして、感染防止への意識が薄れないようにした。保護者には登降園時のマスク着用と、幼児クラスは保育中のマスク着用を実施し、保育中では活動に応じて着脱とソーシャルディスタンスを取るようにした。
- ・R3. 1/13～2/7 緊急事態宣言発出 通常保育
発熱・風邪症状・下痢などあれば登園を控えて頂くようにし、手洗い、消毒、感染拡大防止の徹底を講じた。

令和 2年度 行事報告

自 令和 2年 4月 1日
至 令和 3年 3月 31日

月	日	行 事 名	行 事 内 容
4	1日	入園・進級を祝う会	コロナウィルス感染症対策のため各クラスで行う
		新入児慣らし保育	
		クラス懇談会	コロナウィルス感染症対策のため中止
	14日	避難訓練（地震）	防災頭巾を被って避難した
5	20日	防犯訓練	紙芝居をみて不審者について話を聞いた
	25日	避難訓練（火災）	午睡中の避難についてシュミレーションを行った
		おやつ試食会（地域）	コロナウィルス感染症のため中止
6	3日	避難訓練（火災）	給食室からの出火を想定し稻津町1丁目広場に避難した
	11日	カブラ・ワークショップ	カブラを使った遊びを楽しんだ
		ベビーマッサージ（地域）	コロナウィルス感染症のため中止
		わくわくサークル（ダンシングサンド遊び）	コロナウィルス感染症のため中止
7		プール設置、プール遊び	コロナウィルス感染症のため中止
		たなばたわかば祭り	コロナウィルス感染症のため中止 5歳児が中心となり園内でお祭り遊びを行った
	2日	避難訓練（地震）	防災頭巾を被って避難し、各クラスで話をした
	3日	園内研修（園庭改造）	小泉造園小泉さんに園庭の自然についての話を聞いた
		個人懇談会	
		0歳児（7/27～7/31） 1歳児（7/13～7/17）	午睡時間やお迎えの時間などを利用して、子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり成長を喜び合ったりした
		2歳児（7/6～7/10） 3歳児（7/13～7/31）	
		4歳児（7/13～7/31） 5歳児（7/1～7/10）	
		わくわくサークル（泥んこ遊び）	コロナウィルス感染症のため中止
8	1日	避難訓練（台風）	避難用リュックを持ち2階へ避難した
	6日	園内研修（園庭改造）	園庭改造について職員間で話し合った
		実習生受け入れ（8/17～8/21）	千里金蘭大学からの実習生を受け入れた
	20日	防犯訓練	紙芝居を見て迷子になったときの対処について話を聞いた
		わくわくサークル（感触遊び）	コロナウィルス感染症のため中止
9	3日	総合避難訓練・消防車来園	雨天のため消防車来園は中止。非常階段を使って園庭に避難した
	7日	内科健康診断（全児）	嘱託医（明石医院 明石先生）
	30日	耳鼻科検診	嘱託医（フルヤ耳鼻科 古谷先生）
		わくわくサークル（うた遊び、おと遊び）	コロナウィルス感染症のため中止
10	7日	避難訓練（竜巻）	訓練後、竜巻の写真やイラストを見ながら説明を聞いた
	10日	ディキャンプ	園内でお買い物ごっこやクッキー作りを楽しんだ
		実習生受け入れ（10/12～10/23）	大阪こども専門学校からの実習生を受け入れた
		実習生受け入れ（10/19～10/30）	神戸教育短期大学からの実習生を受け入れた
	21日	歯科検診	嘱託医（五條歯科 清水医師）
	29日	眼科検診	嘱託医（もりおか眼科 森岡先生）
		わうわくサークル（サーキット遊び）	コロナウィルス感染症のため中止
	28日	運動会予行（3歳児）	
	29日	運動会予行（4歳児）	運動会に向けて園庭で体を使った遊びを行った
	30日	運動会予行（5歳児）	

月	日	行 事 名	行 事 内 容
11	足形とり	土踏まずの形成をみた	
	12日 避難訓練（地震）	散歩先から地震による避難を想定し公園に集合した	
	9日 運動会予行（4歳児）	運動会に向けて体を使った遊びや組体操に取り組み園庭での活動を各クラスで行った	
	11日 運動会予行（3歳児）		
	13日 運動会予行（5歳児）		
	14日 運動会（3, 4, 5歳児）	コロナウィルス感染症対策をとりながら園庭で体を使った遊びや組体操を行い、保護者に見てもらい子どもの成長と一緒に喜んだ	
	18日 防犯訓練	紙芝居「いかのおすし」をみて不審者について話を聞いた	
	ビデオ上映会 0歳児（11/16～11/20） 1歳児（11/9～11/13） 2歳児（11/24～11/30）	コロナウィルス感染症対策をとりながら子どもたちの日頃のようすを知ってもらえるよう降園時間にあわせてビデオ上映を行った	
	25日 園外保育（3, 4, 5歳児） 弁当日（2歳児）	海遊館への予定を感染症対策のため戸外へと変更し、伊丹スカイパークへ行った	
	親子クッキング（地域）	コロナウィルス感染症のため中止	
12	2日 避難訓練（ガス漏れ）	ガス漏れを想定し稻津町1丁目公園に避難した	
	7日 乳児内科健康診断（0・1・2歳児クラス）	嘱託医（明石医院 明石先生）	
	10日 手洗い指導（5歳児）	看護師による手洗いの仕方について指導を受けた	
	クリスマス会	コロナウィルス感染症のため中止し各クラスで行った	
	個人懇談（5歳児 12/1～12/17）		
1	足形とり	土踏まずの形成をみた	
	13日 防犯訓練	不審者侵入を想定し避難の訓練を行った	
	18日 避難訓練（地震）	防災頭巾を被り避難をした	
	わくわくサークル（お花紙遊び）	コロナウィルス感染症のため中止	
	個人懇談 2歳児（1/18～1/29）		
2	0歳児（2/1～2/5） 1歳児（2/8～2/12） 3歳児（2/15～2/26） 4歳児（3/1～3/5）	午睡時間やお迎えの時間などをを利用して、子どもの家庭での様子や悩み事、保育園での様子などを話し合ったり成長を喜び合ったりした	
	8日 実習生受け入れ（2/8～2/22）	千里金蘭大学からの実習生を受け入れた	
	15日 野田小学校との引き継ぎ（5歳児）	卒園児の就学先の先生と5歳児担任が引き継ぎを行った	
	16日 避難訓練（漏電）	園庭に避難しコンセントを見て漏電について話を聞いた	
	26日 クラス懇談会（5歳児）	コロナウィルス感染症拡大のため中止。個別に話をした	
	9日 発表会予行（写真撮影）	劇あそびや楽器演奏などの表現遊びを楽しんだ	
	16日 発表会ビデオ撮り	コロナウィルス感染症のため中止	
	アンサンブルコンサート		
	26日 発表会ビデオ配信（～3/1）	コロナウィルス感染症拡大のため、配信で表現遊びのようすを見てもらった	
3	5日 内科健康診断（全児） 新入児内科健康診断	全園児と令和3年度の新入児の健康診断を行った	
	新入児説明、面談（3/1～3/12）	1日2組ずつ来園してもらい説明、面談を行った	
	10日 避難訓練（地震）	さくら広場に避難後、地震後の町の写真を見て話を聞いた	
	17日 園外保育（5歳児）	バスを使って自然史博物館へ行った	
	17日 弁当日（2, 3, 4歳児）	園庭やデッキでお弁当を食べた	
	23日 おわかれ会	卒園児を紹介し就学に向けてお祝いをした	
	26日 卒園式 予行	卒園式に向けて練習を行った	
	27日 卒園式	保護者と職員で卒園を祝った	

その他の行事

お誕生会（毎月第4木曜日）・・・コロナウィルス感染症のため地域参加はなし 園児は各クラスで行った
 発育測定（身長・体重・胸囲）
 園庭開放・・・感染症の状況をみながら中止、実施をした
 避難訓練、消火訓練・・・毎月 1回
 防犯訓練（危機管理による）・・・年 4回
 安全点検、新型コロナウィルス感染症に備えたチェックリスト・・・毎月 1回
 衛生検査（毎週初めに頭シラミ、手足の爪などの検査）
 延長保育事業
 音楽教室（3, 4, 5歳児クラス）・・・アイスリー講師による指導 年間12回
 体操教室（全クラス）・・・アイスリー講師による指導 年間16回

令和 2 年度市立豊中病院内売店(ローソン)事業報告書

1. 売店運営の展開

- (1) 平成 26 年 2 月 28 日開設した「ローソン市立豊中病院店」は 7 年を経過しました。昨年 1 月末からの新型コロナウイルス感染症の影響を受けるまで、お客様数、売上とも着実に上昇傾向にありました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大が続き、令和 2 年度のお客様数、売上は、前年度比でともに約 32% 減少しました。本部への繰入は、売上の減少、また人件費などの固定経費が売上の減少ほど減らなかつたことから、前年度比 70% 減の 1,500,000 円となり、売店運営は非常に厳しい状況です。
- (2) 新型コロナウイルス感染拡大による客数、売上への影響は大きく、3 年 4 月以降いざれも 2 年度と同程度であり、元年度比約 32% の減少が続いています。商品の仕入れや陳列の改善などで売上増を図るとともに、人件費や廃棄処分など経費の見直しを行い、収益の減少を抑えてまいります。

2. 売上高と客数の推移

		R2 年度	R 元年度	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度	H26 年度
(単位千円)	年 間	132,560	193,546	202,090	201,858	177,246	169,340	160,462
	前年比	▲31.5%	▲4.3%	+0.11%	+13.8%	+4.6%	+5.5%	
	月 間	11,046	16,128	16,840	16,821	14,770	14,111	13,371
(単位 人)	1 日	363	530	553	553	485	462	439
	年 間	266,464	395,302	427,324	436,380	386,725	368,950	361,596
	前年比	▲32.6%	▲7.5%	▲2.1%	+12.8%	+4.8%	+4.8%	
	月 間	22,205	32,941	35,610	36,365	32,227	30,745	30,133
	1 日	730	1,083	1,170	1,195	1,059	1,008	990